

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
たし算のひっ算	・既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。	・2位数の加法計算のしかたを、数のしくみ(十進位取り記数法)に着目して考えている。 ・筆算は計のしくみ(十進位取り記数法)をもとにしていることに着目して、繰り上がりのある場合の筆算のしかたを考えている。	・2位数+1, 2位数=2位数(繰り上がりなし)の筆算ができる。 ・2位数+2位数=2位数(繰り上がりあり)の筆算ができる。 ・2位数+1, 2位数=2位数(繰り上がりあり)の筆算ができる。 ・2位数+1, 2位数=2位数の加法計算ができる。	・2位数+2位数=2位数(繰り上がりなし)の筆算のしかたを理解している。 ・加法について交換法則が成り立つことを理解している
ひき算のひっ算	・既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。	・2位数の減法計算のしかたを、数のしくみ(十進位取り記数法)に着目して考えている。 ・筆算は計のしくみ(十進位取り記数法)をもとにしていることに着目して、繰り下がりのある場合の筆算のしかたを考えている。 ・求大の場合について、図から1対1対応の関係を読み取り、加法の式にあら表してよいことを説明できる。	・2位数-1, 2位数(繰り下がりなし)の筆算ができる。 ・2位数-2位数(繰り下がりあり)の筆算ができる。 ・2位数-1, 2位数(繰り下がりあり)の筆算ができる。 ・2位数-1, 2位数の減法計算ができる。	・2位数-2位数=2位数(繰り下がりなし)の筆算のしかたを理解している。 ・減法と加法の関係を用いると、減法の答えを加法で確かめられることを理解している。 ・求小の場合も減法の式に表してよいことを理解している。
3けたの数	・身の回りのものを10や100のまとまりにして数えようとしている。 ・ものの個数を数えようとしている。 ・活動に取り組もうとしている。	・100を単位としたり数の構成に着目したりして数をとらえている。 ・2位数の数系列のりかえをもとに、3位数の数系列を考えている。	・3位数を読んだり書いたりすることができる。 ・10を単位として数をとらえることができる。	・3位数の各位の数字はそれぞれ100, 10, 1の単位の個数を示していることを理解している。 ・百を10個あつめた数を「千」といい、100と書くことを理解している。
計算のじゅんじょ	・3口の数の加法計算のしかたを工夫しようとしている。	・3口の数の加法計算を、()を用いて表した式を1つの数と見て、2口の数の計算にとらえ直している。	・3口の数の加法計算を結合法則を用いて工夫して計算できる。	・結合法則や()の用い方を理解している。
たし算とひき算のひっ算	・既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。	・既習の加法とのちがいを認め、既習の筆算の原理・手順を適用して、2位数+2位数=3位数(百の位へ繰り上がりあり)を考えている。 ・2位数+2位数=3位数(十、百の位へ繰り上がりあり)の筆算のしかたを既習事項をもとに考えている。 ・既習の減法との違いを認め、既習の筆算の原理・手順を適用して、3位数-2位数(十の位へ繰り下がりあり)を考えている。 ・3位数-2位数(一、十の位へ繰り下がりあり)の筆算のしかたを既習事項を元に考えている。 ・3位数-1, 2位数(一、十の位へ波及的繰り下がりあり)の筆算のしかたを既習事項を元に考えている。	・2位数+2位数=3位数(十、百の位への繰り上がりあり)の筆算ができる。 ・2位数+1, 2位数=3位数(百の位へ波及的繰り上がりあり)の筆算ができる。 ・3位数-2位数(一、十の位へ繰り下がりあり)の筆算ができる。 ・3位数-1, 2位数(一、十の位へ波及的繰り下がりあり)の筆算ができる。 ・2位数+1, 2位数=3位数とその逆の減法の計算ができる。	

かけ算 (1)		・ 5 の段の九九と同じ考えを用いて 2 の段の構成を考えている。	・ 乗法の場合を式に表したり，式を読んだりすることができる。 ・ 乗法の答えを被乗数を乗数の数だけ累加する方法で求めることができる。 ・ 5 の段の九九を唱えることができ，それを用いて身の回りの問題を解決することができる。	・ 数量の関係を「単位とする大きさ」の「いくつ分」ととらえることができる。 ・ 5 の段の九九の構成のしかたを理解している。
かけ算 (2)	・ 乗法について成り立つ性質などを多様に用いて，九九を構成しようとしている。	・ 6 の段の九九の構成を見直しながら，乗法について成り立つ性質を考えている。 ・ 7 の段の九九の構成を見直しながら，乗法について成り立つ性質を考えている。 ・ 既習の九九について成り立つ性質が 8 の段でも成り立つことに着目して 8 の段の九九の構成のしかたを考えている。	・ 6 の段の九九を唱えることができ，それを用いて身の回りの問題を解決することができる。 ・ 7 の段の九九を唱えることができ，それを用いて身の回りの問題を解決することができる。 ・ 8 の段の九九を唱えることができ，それを用いて身の回りの問題を解決することができる。	
4 けたの数	・ 身の回りのものを 10 や 100 や 1000 のまとまりにして数えようとしている。 ・ 既習事項を活用し，活動に取り組もうとしている。	・ 2 位数，3 位数の表し方から類推して 4 位数の表し方を考えている。 ・ 100 をもとにした数の相対的な大きさ（乗法的，除法的）をとらえている。 ・ 数直線の見盛りの大きさを数の相対的な大きさをもとにとらえている。 ・ 1000 のまとまりに着目して，10000 の大きさをとらえている。	・ 具体物の個数を位取りの原理をもとに書き表すことができる。	・ 4 位数の各位の数字はそれぞれ 1000，100，10，1 の単位の個数を示していることを理解している。 ・ 千を 10 個集めた数を「一万」といい，10000 と書くことを理解している。

2年 領域（B）

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
あしたはえんそく	- 自分の生活を時刻と対応してとらえようとしている。 - 時刻の読みを日常生活に生かそうとしている。 - 簡単なことがらを分類整理して、表やグラフに表そうとしている。		1分刻みで時刻を正確に読んだり、時刻を時計に表したりすることができる。 - 時計を見て、何時、何時半の読み取りや表現ができる。	1分刻みの時刻の読み方を理解している。 - 表やグラフで表すよさやその方法を理解している。
長さのたんい	- 既習事項を用いて、長さを比較する方法を考えようとしている。 - 既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。 - 身の回りのものの長さに関心をもち、見当をつけて長さをはかろうとしている。	- 任意単位の限界について考えている。 - 数のしくみ（十進位取り記数法）をもとに、下位単位のつくり方について考えている。	- 長さをc mを単位として測定することができる。 - 長さをc mとmmを単位としてはかることができる。 - 指定された長さの直線をものさしを使って正しくひくことができる。	- 長さを表す単位として「センチメートル」という単位を知り、「c m」と書くことを理解している。 1 c m＝1 0 mmの単位関係を理解している。 - 長さには加法性があることを理解している。
長い長さのたんい	- 大きな単位を用いれば長いものの長さを小さな数で表せるよさに気づき、用いようとしている。 - 測定対象に応じてものさしや単位を適切に選んではかろうとしている。 - 既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。		- 単位を求め、長さを数値化して表すことができる。 - 自分の身体をなどをもとにして1 mの長さをとらえることができる。	1 m＝1 0 0 c mの単位関係を理解している。

2年 領域（C）

三角形と四角形	- 色板を使って、いろいろな形を作ろうとしたり形を変えようとしていたりしている。 - ひごを使って、いろいろな形を作ろうとしている。			三角形，四角形の定義を理解している。
---------	--	--	--	--

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
かけ算	- 被乗数・乗数の一方、または両方が0の場合も既習の情報と同じ考え方で立式しようとしている。 - かけ算のきまりを見つけようとしている。 - 既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。	乗数と積の関係や交換法則を用いて、$\times 10$の計算のしかたを考えている。	0を含む乗法計算ができる。 10×1位数、1×10位数、10×10の答えを求めることができる。 $a \times \square = b$、$\square \times a = b$の□の数を求めることができる。	- かけ算の表の答えの並び方に着目し、乗法について成り立つ性質を理解している。 - 乗法について成り立つ性質を理解している。
わり算	- 等分除の答えを見つけるのに、乗法九九を使おうとする。 - 包含除の答えを、見つけるのにも乗法九九を使おうとしている。 - 既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。	- 操作や答えの見つけ方などから、等分除と包含除をわり算として統合的にとらえている。 - 数量関係をとらえるのにテープ図の活用など工夫して考えている。	- 等分除の事象を除法の式に表すことができる。 - 等分除の答えを乗法九九を使って見つけることができる。 - 包含除の事象を除法の式に表すことができる。 - 包含除の乗法九九を使って見つけることができる。 0を含む除法の計算ができる。 - 除法計算ができ、それを用いて問題を解決することができる。	- 等分したときの一人分の数を求めることを除法の式に書くことを理解している。 $a \div a = 1$、$0 \div a = 0$、$a \div 1 = a$などの式の意味を理解している。 - ある数がもとにする大きさの何倍かを求めるには除法を用いることを理解している。
あまりのあるわり算	わり切れない除法計算を既習の計算を使って考えようとしている。	- わり切れない除法計算を、既習のわり切れる場合と結びつけて考えている。 - 場面をとらえて、商に1を加えた数が答えになることを筋道立てて説明できる。	- あまりのある除法の答えを乗法九九を使って求めることができる。 - 除法計算（九九1回適用、あまりあり）ができ、それを用いて問題を解決することができる。	- あまりは除数より小さくなることを理解している。 - あまりのある除法の答えの確かめ方を理解している。
たし算とひき算のひっ算	3位数+3位数の筆算のしかたを既習の筆算をもとに考えようとしている。 3位数-3位数筆算のしかたを既習の筆算をもとに考えようとしている。 - 既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。	2位数の加法の筆算の原理・手順をもとに、3位数の加法の筆算のしかたを考えている。 3位数の加法や2位数の減法の筆算の原理・手順をもとに、3位数の減法の筆算のしかたを考えている。	3位数+3位数の筆算ができる。 3位数-3位数の筆算ができる。	
かけ算のひっ算（1）	2位数×1位数の筆算のしかたを既習の乗法九九などをもとに考えようとしている。 3位数×1位数の筆算のしかたを、2位数×1位数の筆算をもとに考えようとしている。 - 既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。	何十、何百×1位数の計算を、1位数×1位数の計算を元にして考えている。	2位数×1位数（一の位の数との部分積が2けた）の筆算ができる。 2位数×1位数（十の位の数との部分積が2けた）の筆算ができる。 3位数×1位数（一、十の位の数との部分積が2けた）の筆算ができる。 - 乗法2段階の式を1つの式に表すことができる。 2、3位数×1位数の計算ができる。	

大きい数のしくみ	・束ごとに数えるよさに気づき，数えようとしている。 ・一億未満の数を探そうとしている。	・既習の１００００までの数のしくみから類推して，一万～千万の数のしくみも１０個分の関係になっていることをとらえている。 ・数を相対的な大きさでとらえている。	・千万の位までの数を読んだり書いたりできる。 ・数直線上に表された整数を読んだり，数直線上に整数を表したりできる。	・十万未満の数の読み方や書き方，数の構成を理解している。 ・１０倍した数はもとの数に０を１個つけた数になることを理解している。 ・１００倍した数はもとの数に０を２個つけた数になること，１０でわった数はもとの数の一の位の０をとった数になることを理解している。
かけ算のひっ算（２）	・既習の計算を使って２位数×２位数野計算や筆算のしかたを考えようとしている。	・１位数×何十の計算について乗法の結合法則を用いて考えている。 ・２位数×何十の計算について２位数×１位数の計算をもとにして考えている。 ・２位数×２位数の計算を既習の２位数×１位数の計算に帰着して考えている。 ・１位数×２位数の計算を２位数×１位数で計算すれば簡単になることに着目して考えている。 ・２位数×１位数の暗算を被乗数を分解して，既習の計算を元に考えている。	・２位数×２位数の筆算ができる。 ・２位数×２位数の計算ができ，それを用いて問題を解決することができる。	・１位数×何十の計算のしかたを理解している。 ・２位数×何十の計算のしかたを理解している。

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
時 こ く と 時 間	時刻と時間を区別し，日常生活の中で両者を使い分けようとしている。		- ある時刻から一定時間前や後の時刻をもとめることができる。 - 二つの時刻の間の時間や，時間と時間の和を求めることができる。	1時間＝60分の関係を理解している。 1日＝24時間の関係を理解している。 1分＝60秒の関係を理解している。
水 の か さ の は か り 方 と 表 し 方	- 長さの学習経験を生かして，かさの比較のしかたを考えようとしている。 - 大きなかさをはかるときの単位を十進法取り記数法の原理から考えようとしている。 - 身の回りの容器のかさに関心をもち，m l 表示された容器を探そうとしている。 - いろいろな入れ物のかさをはかろうとし，はかる際に見積もりをしようとしている。 - 既習事項を活用し，活動に取り組もうとしている。	長さの学習経験を生かして，かさを比較する方法や普遍単位のよさについて考えている。	かさの多少を直接比較，間接比較の方法で比べることができる。	- 大きなかさを表すにはリットルを使い、「1」と書くことを理解している。 - 身の回りの容器のかさの多くは，ミリリットルやリットルの単位を使って表されていることが多いことを理解している。 - かさについても加法性が成り立つことを理解している。
長 い 長 さ の は か り 方	- 道のりや距離を身近な生活と結びつけて考えようとしている。 - 既習事項を活用し，活動に取り組もうとしている。		巻き尺のよさに気づき，いろいろなものの長さを巻き尺を用いて手際よく測定することができる。	- 巻き尺を用いる場合とその使い方を理解している。 1 km＝1 000 mの単位関係を理解している。
重 さ の は か り 方 と 表 し 方	- いろいろなものの重さに関心をもち，重さを比べようとしている。 - はかり（上皿ばかり）に関心をもち，目盛りを読もうとしている。 - 重さをはかる前に見当をつけようとしている。 - はかりについて興味をもち，調べようとする。 - 既習事項を活用し，活動に取り組もうとしている。	重さも長さやかさと同じように，単位を決めて数値で表すことについて統合的に考えている。	- 測定する対象や目的に応じて，適切な計器を選択し，重さを測定することができる。 - 正味，風袋，全体の関係に着目して，未知の料の重さを求めることができる。 - いろいろなはかりの目盛りを読むことができる。	- 秤量1 kgのはかりの目盛りの読み方を理解している。 1 kg＝1 000 gの単位関係を理解している。また，秤量4 kg，2 kgのはかりの目盛りの読み方を理解している。

3年 領域（C）

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
長方形と正方形	- 身の回りから直角になっている部分を見つけようとしている。 - 身の回りから、長方形や正方形の形をしたものを探そうとしている。	- 図形の置かれた位置に関係なく、長方形を認めている。 - 長方形、正方形などの四角形は、直角三角形の組み合わせであることを見い出している。	- 三角定規の直角の部分などを使って、直角調べができる。 - 方眼を用いて、長方形や正方形を書くことができる。	- 長方形の定義を理解している。 - 正方形の定義を理解している。 - 直角三角形の定義を理解している。
はこの形	- 箱の形に興味をもち、その特徴について調べようとしている。 - 既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。	となり合う面や向かい合う面の特徴や関係をとらえ、組み立て方を考えている。		- 箱の形について、面は6つの長方形や正方形で、向かい合った面は合同であることなどを理解している。 - 箱の形（直方体・立方体）には、頂点が8つ、面が6つ、辺は12あることなど、図形の構成要素を理解している。

3年 領域（D）

ぼうグラフと表	- 落ちや重なりがないことや合計欄を使って集計の誤りがないことを確かめようとしている。 - 棒グラフからいろいろなことを読み取ろうとしている。 - 身の回りの事象を調べて、棒グラフに表そうとしている。 - 既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。	- 表と棒グラフを比較してグラフの有用性について考えている。 - 一次元表と二次元表を比較して、二次元表の有用性について考えている。	- 棒グラフから、数量や数量間の関係を読み取ることができる。 - 横軸に数量をとった棒グラフでも数量や数量間の関係を読み取ることができる。 - 棒グラフを書くことができる。	- 棒グラフを書く手順を理解している。 - 二次元表のしくみを理解している。
---------	--	--	--	--

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
大きい数のしくみ	・億の位の数の読み方を、既習の数と関連づけて調べようとしている。 ・整数を10倍した数や10でわった数を表すことができる。	・億の数の読み方を、既習の万の位までの数のよみかたに着目して考えている。 ・兆の位の数の読み方を、既習の億の位までの数のよみかたに着目して考えている。	・億や兆の位までの数を読んだり書いたりできる。	・整数を10倍した数や10でわった数の表し方を理解している。
数をあらわすしくみ	・十進位取り記数法の有用性に気づき、大きな数の表し方に生かそうとしている。 ・古代エジプト数字に関心をもち、現在の数字との違いを調べようとしている。		・0から9までの数字でいろいろな整数を表すことができる。	・整数の表し方のしくみを理解している。
何十、何百のわり算		・何十、何百や何百何十÷1位数の計算を、被除数の相対的な大きさをとらえて、九九を用いて考えている。	・相対的な大きさをとらえて除法の計算ができる。	
わり算のひっ算（1）	・既習の計算をもとに2位数÷1位数の計算方法を考え出そうとしている。 ・3位数×1位数の筆算のしかたを、2位数×1位数の筆算をもとに考えようとしている。 ・既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。 ・既習の筆算との相違に着目して考えようとしている。	・2位数÷1位数の筆算は、上位から位ごとに進めていくことを筋道立てて説明できる。 ・3位数÷1位数の筆算を、2位数÷1位数と同じ手順で考えている。 ・2つの式を、乗除混合の1つの式にまとめて表す方法を説明できる。	・2位数÷1位数（あまりありで、各位とも割り切れない、及び十の位で割り切れる）の筆算ができる。 ・3位数÷1位数＝3位数（各位とも割り切れない）の筆算ができる。 ・3位数÷1位数＝3位数（商に空位を含む、及び百の位や十の位で割り切れる）の筆算ができる。 ・3位数÷1位数＝2位数（首位に商が立たない）の筆算ができる。	2位数÷1位数（あまりあり）筆算のしかたを理解している。 ・3位数÷1位数＝2位数（首位に商が立たない）の筆算のしかたを理解している。 ・乗除混合、連除の式の計算しかたを理解している。
倍の計算	・数量の関係をとらえるのに、数直線図などを活用しようとしている。	・何倍かにあたる数と倍を表す数から、もとの大きさを求める式を考えている。	・何倍かにあたる数と倍を表す数から、もとの大きさを求める場合にも、除法を用いることを理解している。	・ある数が元にする大きさの何倍かを求めるには、除法を用いることを理解している。
小数	・身の回りのどんなところに小数が用いられているか探そうとしている。	・単位の何こ分ととらえて、既習の整数の計算に帰着して小数の加減計算を考えている。 ・整数の計算と同じように、位をそろえるなどして、小数の加法・減法計算を考えている。	・数直線上の小数を読む活動を通して、小数も十進数であることをとらえている。 ・小数の加法・減法の筆算ができる。	・小数の位取りや「小数第1位」の用語を理解している。 ・小数の構成（相対的な大きさも含む）を理解している。

わり算のひっ算(2)	・10を単位として、何十でわる計算（あまりなし）のしかたを考えている。 ・2位数÷2位数の計算のしかたを考えようとしている。 ・仮商をたてやすい除数の処理のしかたを考えようとしている。 ・外国のわり算の筆算のちがいをみつけようとしている。	・除数が何十の場合の計算をもとにして、2位数÷2位数（仮商修正なし）の筆算のしかたを考えることができる。 ・仮商のたて方、修正のしかたを筋道立てて説明している。 ・過小商と過大商のそれぞれの仮商修正のしかたを比べている。 ・既習の計算のしかたをもとに筆算のしかたを考えている。 ・具体的な場面から、被除数、除数と商の関係を考えている。	・何十でわる計算（あまりなし）ができる。 ・何十でわる計算（あまりあり）ができる。 ・過大商をたてたときの仮商修正ができる。 ・過小商をたてたときの仮商修正の筆算ができる。 ・3位数÷1位数＝1位数の筆算ができる。 ・2～3位数÷2位数＝1位数の筆算ができる。 ・3位数÷2位数＝2位数の筆算ができる。 ・末尾に0のある数の除法の簡便な計算が正確に出来る。	・何十でわる計算（あまりあり）のしかたを理解している。 ・3位数÷2位数＝2位数の筆算のしかたを理解している。 ・商に0が立つ場合（商が何十）の簡便な筆算のしかたを理解している。 ・除法の性質を理解している。
がい数の表し方	・概数を用いることのよさに気づき、用いようとしている。 ・身の回りから概数が用いられているものを探そうとしている。		・四捨五入して概数に表すことができる。 ・目的に応じて資料の数値を適切に概数処理して折れ線グラフに表すことが出来る。 ・四捨五入の方法を理解している。	・概数の意味を理解している。 ・四捨五入の意味を理解している。 ・概数にするときは何の位を四捨五入すればよいのかを理解している。
分数	・分数で表すよさに気づき、いろいろなものの長さを分数で表そうとしている。	・$\frac{2}{3}m$ は、1m を3等分した2こ分の長さであることを説明できる。	・$1\frac{1}{3}$を等分した大きさを分数を用いて表すことが出来る。 ・分数を用いて表した量を数直線上に表したり、表された量の大きさをとらえることが出来る。 ・整数と同じように単位の何個分として、仮分数をとらえることが出来る。 ・仮分数と帯分数の大きさを比べることが出来る。	・1m を3等分した1個分の長さを1m の「三分の一」といい、「$\frac{1}{3}m$」と書くことを理解している。 ・分数、分母、分子の意味を理解している。 ・$5 \div 5$は1であることを理解している。 ・単位量をこえる大きさは仮分数や帯分数で表せることを理解している。 ・仮分数と帯分数の関係を理解している。 ・数直線上に表された$1 \div 10$を単位とした分数について、その大きさや小数との対応関係を理解している。

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
三角形と角（回転の角の大きさ）	・回転角の大きさの変わり方を調べようとしている。 ・分度器を工夫して用いようとしている。 ・いろいろな大きさの角を作ろうとしている。 ・身の回りから、角度を活用しているものを探そうとしている。	・角も他の量と同じように、単位量のいくつ分と数値化して考えている。 - 量の加法性に着目して、180°より大きい角度のはかり方を考えている。 ・	・分度器を用いて、角度をはかることができる。 ・分度器を用いて、角をかくことができる。 ・分度器と定規を用いて、二等辺三角形や正三角形を作図することができる。	・半直線が回転すると、いろいろな大きさの角ができることを理解している。 ・分度器の構造や、1直角＝90°の関係を理解している。 ・分度器を用いた角度のはかり方を理解している。 ・対頂角の性質を理解している。 ・三角定規のそれぞれの角の大きさを理解している。
面積のはかり方と表し方	・既習の量の場合と関連づけながら、色々な方法で広さの比べ方を考えようとしている。 ・1㎡の面積をつくろうとしている。 ・大きな面積に関心をもち、単位の間隔を調べようとしている。 ・身の回りのものの面積を予想を立ててから調べようとしている。	・広さを比べるときに、単位の大きさを決めて数値化して考えている。 ・長方形、正方形の面積の求め方を、辺の長さに着目して考えている。 ・複合図形を長方形に分割するなどして、面積の求め方を工夫している。	・1c㎡の何こ分と見て面積を求めることができる。 ・面積の公式を用いて長方形、正方形の面積を求めることができる。 ・複合図形の面積を求めることができる。 ・㎡の単位を用いて大きなものの面積を表すことができる。 ・長方形、正方形の面積を求めることができる。	・面積の表し方を理解している。 ・1㎡の大きさを理解している。 ・㎡とc㎡、k㎡と㎡の関係を理解している。

4年 領域（C）

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
円と球	- 円をかく方法を考えようとしている。 - 茶碗などを使って作図した円の中心の位置を、いろいろ工夫しながら見つけようとしている。 - コンパスを使って、模様をかこうとしている。 - 身の回りの円や球の形をしたものの直径の長さをはかろうとしている。	- ひもや自作コンパスを使った作図を通して、半径はどれも同じ長さであることを見出している。 - 中心の見つけ方を工夫して考えている。 - 球の切り口は、球の中心を通る平面で切った場合が最大であることを見出している。	- コンパスを使って、指定された半径の円をかくことができる。 - コンパスで長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりすることが出来る。 - コンパスを使って、模様をかくことができる。 - 円や球の性質を理解している。	- 円の概念及び中心、半径の意味を理解している。 - 直径の特徴や直径と半径の関係を理解している。 - コンパスは長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりする機能があることを理解している。 - 球の概念や性質を理解している。
		となり合う面や向かい合う面の特徴や関係をとらえ、組み立て方を考えている。		- 箱の形について、面は6つの長方形や正方形で、向かい合った面は合同であることなどを理解している。 - 箱の形（直方体・立方体）には、頂点が8つ、面が6つ、辺は12あることなど、図形の構成要素を理解している。

4年 領域（D）

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
折れ線グラフ	- 身の回りの事象の変化の様子を表すのに適したグラフを考えようとしている。 - 折れ線グラフは、変化の様子を見るのに便利であることに気づき、読み取ろうとしている。 - 折れ線グラフをかいたり、読んだりしようとしている。 - 変化の事象を探して、折れ線グラフに表そうとしている。		- 折れ線グラフを読むことが出来る。 - 折れ線の傾き具合の違いを読み取ることができる。 - 折れ線グラフをかくことができる。 - 折れ線グラフから、未測値（中間値）を推測することができる。 - 表から折れ線グラフをかくことができる。	- 折れ線グラフの傾きと変化の度合いの関係を理解している。 - 目盛りに波線を用いた折れ線グラフのかき方を理解している。
きろくを見やすく	- 目的に応じて、資料を工夫して分類整理しようとしている。 - 資料を二次元表に表すと、2つの観点から同時にとらえられるよさに気づき、用いようとしている。	表にまとめた記録を、見やすく整理する方法を工夫して考えている。	- 資料を2つの視点から分類整理して二次元表に表したり、その表から資料の特徴などを読み取ったりすることが出来る。 - 目的に応じて分類整理し、二次元表に表すことができる。 4つの項目に分類した二次元表を読み取ることが出来る。	- 資料を2つの視点から分類整理してそれらをまとめた二次元表の表し方や読み取り方を理解している。 2つの分類項目をもつ2つの観点から、資料を分類整理する方法を理解している。

整 理 し よ う			る。	
計 算 の 約 束 を 調 べ よ う	・ 2 段階構造の問題を 1 つの式に表そうとしている。 ・ 目的に応じた四則混合の式をつくろうとしている。 ・ 四則混合計算や、() を用いた式の計算ができる。	・ 2 段階構造の問題を 1 つの式に表し、簡潔に表現している。	・ () を用いた式の計算ができる。 ・ 2 段階構造の問題を 1 つの式に表すことができる。 ・ 3 段階構造の式の計算ができる。	・ 四則混合の式の表し方を理解している。 ・ 四則混合の式の計算順序を理解している。
ど の よ う に か わ る か な	・ 伴って変わる 2 つの数量の関係を調べようとしている。	・ 伴って変わる 2 つの数量の関係を□や○を用いて式に表して、簡潔に表現できる。	・ 伴って変わる 2 つの数量の関係を表に表したり、□や○を用いて式に表したりして、変化を考察することが出来る。	

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
小数と整数のしくみ	- 整数や小数の構成について考えようとしている。 - 小数の構成について考え、答えを見つけようとしている。	1/10 の位までの単位ではかれないはしたを表すには、さらに小さな単位をつくればよいことに着目できる。 1/100 の位で考えたことをもとに、1/1000 の位について考えている。 - 整数及び小数は、ともに十進位取り記数法のしくみで表されていることを、小数点の位置と関連付けて考えている。	1/1000 の位までの小数に表したり、それを読んだりすることができる。 - 小数を相対的な大きさで表すことができる。 0 から 9 までの数字と小数点を使って、色々な大きさの数を表すことができる。 - 整数や小数は十進位取り記数法で表されていることを理解している。	1/1000 の位までの小数の表し方、読み方を理解している。 - 小数の大小の比べ方を理解している。 - 小数を 10 倍、100 倍、1/10、1/100 にしたときの、数の表し方を理解している。 - 整数や小数を 10 倍、100 倍、(1/10、1/100) すると、小数点の位置が右（左）へそれぞれ 1 けた、2 けた移ることを理解している。
小数のかけ算とわり算（1）	- 小数に整数をかける計算の意味を、既習の整数の乗法計算に関連づけて考えようとしている。 - 小数に整数をかける計算の意味を、既習の整数の除法計算に関連づけて考えようとしている。 - 小数の乗法や除法の計算式について考えようとしている。	- 既習の整数の乗法の筆算をもとにして、1/10 の位までの小数に 1 位数をかける筆算のしかたを考えている。 - 既習の整数の除法をもとにして、1/10 の位までの小数に 1 位数でわる筆算のしかたを考えている。 - あまりを求めるときに、単位とする小数の何こ分として考えることができる。 - 小数倍の意味を図などを用いて説明できる。	1/10 の位までの純小数に 1 位数をかける場合や、積の 1/10 の位が 0 になる場合の筆算ができる。 1/10 の位までの小数に 2 位数をかける筆算ができる。 1/10 の位までの小数に 1 ～ 2 位数をかける計算ができる。 1/10 の位までの小数を 1 ～ 2 位数でわる筆算（商が純小数になる場合を含む）をすることができる。 - あまりのある場合の、小数を整数でわる計算をすることができる。 - 整数や小数を整数でわって、わり進みをするときの筆算をすることができる。 - 除法によって、小数倍を求めることができる。 1/10 の位までの小数を 1 ～ 2 位数でわる筆算をすることができる。	1/10 の位までの小数に 2 位数をかける筆算の表し方を理解している。 1/10 の位までの小数を 1 ～ 2 位数でわる筆算（商が純小数になる場合を含む）のしかたを理解している。
概数	目的に応じて和や差を概数で見積もろうとしている。		概数を用いて、和や差を見積もることができる。	

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
整数を二つの仲間に分けよう	整数を偶数と奇数の観点からみようとしている。	数直線から偶数と奇数の並び方を考えている。	- 整数を偶数と奇数にわけることができる。 - 偶数と奇数の性質を利用して、正しく類別することができる。	偶数と奇数の意味を理解している。
小数のかけ算とわり算（2）	- 電卓を用いて乗法の計算をしようとしている。 - 電卓を用いて除法の計算をしようとしている。	- 既習の整数×整数、小数×整数などに関連付けて、整数×小数（1/10 の位まで）の計算のしかたを考えている。 - 整数の乗法の筆算のしかたに帰着して、1/10 の位までの小数どうしをかける筆算のしかたを考えている。 - 数直線上の乗数の大きさに関連付けて、被乗数と積の大小関係について考えている。 - 既習の整数÷整数、小数÷整数などに関連付けて、整数÷小数（1/10 の位まで）の計算のしかたを考えている。 - 整数の除法の筆算のしかたに帰着して、1/10 の位までの小数どうしをかける筆算のしかたを考えている。 - 数直線上で除数の大きさに関連付けて、被除数と商の大小関係について考えている。 - あまりの小数点の位置を被除数と関連させて考えている。 - 倍を表す数が小数の場合でも、小数倍に当たる大きさを求めるには、整数の場合をもとに発展的に考えている。 - 倍が小数の場合でも、基準量を求めるには、整数の場合を元に発展的に考えている。	1/10 の位までの小数どうしをかける計算（末尾の0を処理したり、0を補う場合）ができる。 - 乗数が小数の乗法計算ができる。 1/10 の位までの小数どうしの除法の計算（商が純小数や、被除数に0を補う場合）ができる。 - あまりのある場合の小数の除法計算ができる。 - 小数の除法の答えを、必要に応じて概数で表すことができる。 - 除数が小数の除法計算ができる。 - 比較量、基準量が小数の場合でも、何倍かを除法で求めることができる。	- 小数をかけることの意味を理解している。 - 長方形の辺の長さが小数の場合も、面積公式を適用して面積を求められることを理解している。 - 小数でわることの意味を理解している。

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
分数と小数	・ 除法計算の結果を積極的に分数を用いて表そうとしている。 ・ 計算の結果や日常の事象の処理に、分数を積極的に用いようとしている。	・ 同じ大きさの分数の存在について、異分母の場合にまで拡張して考えている。 ・ 同分母の真分数どうしの加法計算のしかたは、単位分数の何個分ととらえ、既習の整数の加法計算に帰着して考えている。 ・ 同分母の分数の減法計算のしかたは、単位分数の何個分ととらえ、既習の整数の減法計算に帰着して考えている。 ・ 分数の倍について、整数や小数の場合を元に発展的に考えている。 ・ 大小を比べたり、数直線上に表したりできることをもとにして、小数や分数も整数と同じ数として統合的に捕らえている。	・ 同分母分数の加減計算（真分数どうしの加法とその逆の減法）ができる。 ・ 整数の除法の商を分数を用いて表すことができる。 ・ 分数を小数や整数になおすこと、小数や整数を分数になおすことができる。 ・ 整数の除法の商を分数を用いて表すことができる。	・ 分子が同じ分数の大小を比べるには、分母の大きさに着目すればよいことを理解している。

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
平行四辺形と三角形の面積	- 平行四辺形の面積を既習の図形の求積と関連づけて工夫して求めようとしている。 - 高さを表す垂線の足が平行四辺形の外にある場合でも、工夫して平行四辺形の面積の公式を適応しようとしている。 - 平行四辺形、三角形の求積方法を活用して問題を解決しようとしている。	- 長方形の面積の求め方面積の求め方に帰着して、平行四辺形の面積の求め方を考えている。 - 等積変形した長方形の縦と横の長さに着目して、平行四辺形の面積の公式を考えている。 2つの数量の関係を、□や○を用いた式で表して、数量の関係を捉えている。 - 倍積変形して平行四辺形にする考えをもとにした三角形の面積の求め方を考えている。 - 倍積変形した平行四辺形の底辺の長さとお高さに着目して、三角形の面積の公式を考えている。	- 平行四辺形の面積の公式を用いて面積を求めることができる。 - 高さを表す垂線の足が三角形の外にある場合でも、工夫して三角形の面積を求めることができる。 - 平行四辺形、三角形の面積をいろいろな考え方で求めることができる。	- 平行四辺形の面積の求め方を理解している。 - 三角形の面積の求め方を理解している。
円の面積と面積公式	- 円の面積を、単位面積の考えや既習の図形と関連づけて求めようとしている。 - 曲線図形の面積に興味を持ち、より正確な求め方を考えようとしている。 - いろいろなものを使って三角形の面積の公式を導こうとしている。	円の面積の求め方を説明できる。	公式を用いて円の面積を求めることができる。	方眼や三角形の面積をもとにした、円のおよその面積の求め方を理解している。

	関心・意欲・態度	考える力	表現処理	知識理解
垂直・平行と四角形	- 紙を折って垂直をつくろうとしている。 - 紙を折って平行をつくろうとしている。 - 身の回りから、垂直や平行なものを探そうとしている。 - いろいろな四角形を、その特徴に応じて仲間分けしようとしている。	- 角の大きさに着目して、直線の交わり方について考えている。 - 垂直や平行の機能的なよさについて考えている。	- 垂直を弁別することができる。 - 垂直な直線をひくことができる。 - 平行の弁別することができる。 - 平行な直線をひくことができる。	- 垂直の概念を理解している。 - 垂直な直線をひくときの三角定規の使い方を理解している。 - 平行の概念を理解している。 - 平行な直線の間の距離は一定であること、平行な直線は他の直線と等しい角度で交わることを理解している。 - 台形、平行四辺形の概念を理解している。
三角形の角のひみつをさぐる	三角形の内角の和を求めるのに、いろいろな方法で調べようとしている。	三角形の内角の和の大きさをもとにして、多角形の内角の和の求め方を考えている。	- 計算で三角形の内角の大きさを求めることができる。	三角形の内角の和は180°、四角形の内角の和は360°であることを理解している。
円周と円の面積	- 円周と直径の長さを調べようとしている。 - 円周率や円周の長さなどを既習を活用して調べようとしている。	- 既習内容と関連づけて円周の長さの求め方を考えている。 - 円周の長さを求める式を円周と直径の関係から考えている。	- 調べた結果から円周の長さは直径の何倍かを求めることができる。 - 円周や直径の長さを求めることができる。	- 円周率の意味を理解している。 - 直径の長さが2倍、3倍、・・・になると、円周も2倍、3倍、・・・になることを理解している。 - 目的に応じて円周率を3として用いて処理する場合があることを理解している。
百分率とグラフ	- 数量を比べるときに、全体と部分の考えを用いようとしている。 - 百分率やそれに関する計算を日常自称の考察や処理に用いようとしている。 - 資料の数量の割合を帯グラフや円グラフに表そうとしている。 - 身の回りから割合が使われているものを探そうとしている。	- 数量の比較をするときに、全体と部分の関係ととらえて、比べ方を考えている。 - 基準量を求める式を導くのに、比較量を求める式に着目して、考えている。 - 全体に対する部分の割合は、その大きさを面積に置き換えると、大小の関係が見やすくなることを見出している。	- 割合を百分率で表したり、百分率で表された割合を小数で表したりすることができる。 - 比較量を求めることができる。 - 基準量を求めることができる。 - 帯グラフや円グラフをかくことができる。 - 既習の計算ができる。	- 百分率の表し方を理解している。 - 帯グラフ、円グラフの読み方を理解している。